

1 福山市総合戦略の策定～現状

■2015年(平成27年)10月に福山市総合戦略を策定し、次に記載の4つの視点に基づき各事業を実施している。

- 視点1 安定した雇用を創出する
- 視点2 魅力を高め、新しいひとの流れをつくる
- 視点3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 視点4 安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

■各施策に関連して設定した数値目標に対する実績は、2017年(平成29年)12月現在、特に人口増減に関連する項目について、目標を下回る状況になっている。

福山市総合戦略記載の数値目標			実績等 (カッコ内は公表された最新の年)	進捗
数値目標	基準値	目標値		
視点1 市内就業者数	206,888人 (2012年)	210,000人 (2018年)	212,490人 (2014年)	↗
視点2 福山市への 転入超過	▲379人 (2014年)	300人 (2019年)	▲344人 (2017年)	↘
視点2 総観光客数	6,758千人 (2014年)	7,100千人 (2019年)	7,293千人 (2016年)	↗
視点3 出生数	4,232人 (2014年)	現状維持 (2019年)	3,879人 (2016年)	↘
視点3 合計特殊出生率	1.73 (2013年)	1.81 (2017年)	1.6 (2016年)	↘
視点4 まちづくりに関心がある市民の割合 (市民アンケート調査)	70.8% (2015年)	80.0%以上 (2019年)	調査未実施 (次回時期は未定)	—

視点1に関連のある事業

- 大学生による企業取材(ジョブリサ) (※3)
- 企業見学ツアー
- 企業研究会(関西での学生と企業の交流会)
- 福山市就職支援サイト(就活ふくやま)
- LADY WORK CAFE
- ばらのまち福山学生登録
- 輝く女性応援サイト(BINGO WOMAN)
- 看護職員再就職支援セミナー
- 看護職員確保啓発事業
- 在宅ワーク普及促進 (※2)
- ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度
- 企業分析力養成講座(市立大学)
- 地域課題解決プロジェクト(市立高校)

等

視点3に関連のある事業

- 交流イベント(婚活関連) (※4)
- 子育て支援に関するポータルサイト・アプリケーション
- 子育て応援ガイド
- 福山ネウボラ (※1)
- 一般不妊治療助成

等

※1～4については、次ページ「若者・女性の人口減少対策に関する取組状況」に、事業の概要を掲載

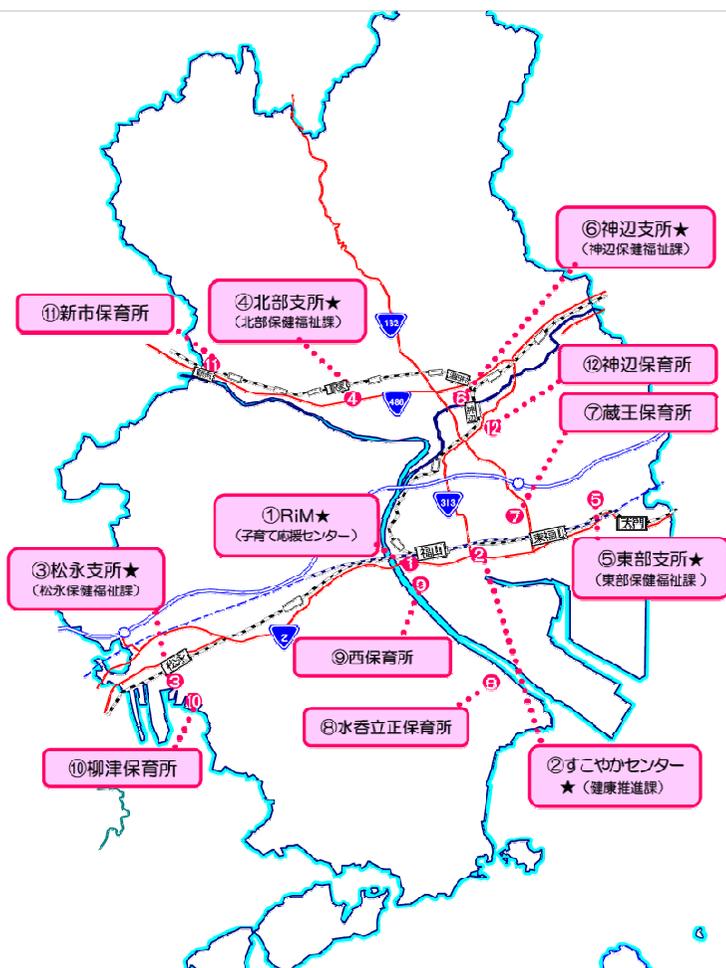
※1 「福山ネウボラ」の実施

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うため、昨年6月14日から市内12カ所に福山ネウボラ相談窓口「あのね」を開設。

(1) 相談件数(2017年12月末現在)

4,638件(来所4,065件,電話573件)

(2) 福山ネウボラ相談窓口「あのね」開設場所



(3) 新年度の取組

■福山市立大学との共同研究

現在、国内外の先進地から見えてきた、継続して相談に来てもらう工夫や信頼関係の構築などについて、課題を整理。
課題を踏まえ、福山ネウボラの実践に生かせるよう、研究を更に発展させる。

■外部の専門家を招いての研修

外部の専門家を招き、ネウボラ相談員等の相談の充実に取り組む。

■繰り返し来所できる仕組みづくり

出産前後に不安が高まることから、妊娠後期において、「あのね」に来ていただけるような仕組みを、次年度予算の中で検討。

※2 Web系在宅ワーク支援事業

働く時間や場所の制約にしばられず柔軟に就業できるインターネットを利用した在宅ワークを普及させ、その技術習得及び業務実施などを支援することで、女性の活躍を推進する。

(1) 啓発セミナー

2017年10月11日(参加者:120人)

(2) 実践講座

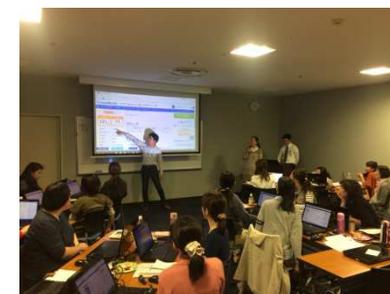
2017年10月31日～11月2日

12月11日～13日

2018年 1月16日～18日

(合計参加者:約60名)

“時間や場所にとらわれない
柔軟な働き方の実現“



※3 大学生による企業取材

市内大学生が市内企業で働く若手女性社員等を取材し、大学生の視点から福山市で働く魅力を伝える冊子を作成することで、就職活動前の早期段階から、市内企業の魅力や特徴を知り、市内企業で働くイメージを掴むことにつなげる。

また、作成した冊子を全国の大学及び関係機関等に配布することで、市内企業をPRし、市外大学生への就職促進につなげる。

(1) 取材体制

福山大学・市立大学の計6名

(2) 取材件数

- ・5社(伊豆義(株), (株)エブリイ, 太洋電機産業(株), (株)ブルーメイト, マナック(株))
- ・カフェ 4社

(3) 取材内容

- ・若手女性社員インタビュー等
- ・企業紹介等

(4) 冊子名称

学生による学生のための福山地域就職情報誌
ジョブ・リサ (JOB RESEARCH FUKUYAMA)

(5) 作成部数

2,000部

(6) 配布先

- ・全国の大学・短期大学・専修学校(約700校)
- ・関係機関(各市町, ハローワーク, 図書館等)



※4 若者交流支援事業

若者の結婚を官民協働で支援するため、商工会議所, JCなどの団体と2014年度に「若者交流促進協議会」を設立し、結婚を希望する男女のために、出会いの場を創出するとともに、若者の結婚を応援する機運の醸成を図る。

(1) 交流イベントの開催

年に複数回開催し、結婚を望む若者に「出会いの機会」を提供



(2) ふくやまde愛サポーター活動支援

地域で結婚支援活動を行う「地域サポーター」と企業内等で結婚支援活動を行う「企業内サポーター」の2種類の取組。

■「地域サポーター」(広く一般に結婚の機運を高める)

結婚に悩む若者を広く募集するために「婚活Cafe」を開催し、参加者の結婚に関する相談に応じたり、交流の場を設けたり、相談登録者同士を引き合わせるなどにより、結婚に向けた支援をする。

■「企業内サポーター」(賛同企業内に結婚の機運を高める)

企業内サポーター認定企業間における交流イベント「Fuku Cafe」を開催するなど、他企業の独身者と出会う機会を提供する。

(3) 2017年度事業実績(2018年1月現在)

交流イベント		地域サポーター		企業内サポーター			
—		婚活café		Fuku Cafe		Fuku Cafe mini	
開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数
7/29	21人	6/18	47人	7/8	21人	9/22	9人
12/3	40人	11/5	39人	1/21	32人		
3/17	—	2/3	—				

【参考】転入転出者数(15歳～39歳まで, 5歳区分, 男女別)

(1)人口推移

●2015年(平成27年)10月の国勢調査では, 本市の人口は, 2010年(平成22年)10月に比べて増加している。

国勢調査

2005年 459,087人
2010年 461,357人 (2,270人増)
2015年 464,811人 (3,454人増)

2015年(平成27年)以降の状況(住民基本台帳)

(各年12月末現在, 単位:人)

年	日本人			外国人		
	男	女	小計	男	女	小計
2015	225,828	238,769	464,597	3,474	3,829	7,303
2016	225,301	237,998	463,299	3,875	4,063	7,938
2017	224,769	237,276	462,045	4,347	4,281	8,628

年	合計			前年比
	男	女	小計	
2015	229,302	242,598	471,900	▲374
2016	229,176	242,061	471,237	▲663
2017	229,116	241,557	470,673	▲564

(3) 社会増減5歳区分, 男女別(15歳～39歳)

(単位:人)

男女合計

年	15～19歳			20～24歳			25～29歳			30～34歳			35～39歳		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
2012	550	653	▲103	1,922	1,917	5	1,995	1,820	175	1,457	1,378	79	1,068	1,045	23
2013	565	600	▲35	1,898	1,956	▲58	1,977	1,788	189	1,444	1,305	139	964	1,033	▲69
2014	515	556	▲41	1,862	1,990	▲128	1,828	1,785	43	1,274	1,320	▲46	958	1,010	▲52
2015	568	616	▲48	2,046	2,132	▲86	1,893	1,927	▲34	1,262	1,374	▲112	866	981	▲115
2016	591	648	▲57	1,963	2,139	▲176	1,847	1,799	48	1,245	1,356	▲111	896	845	51

男性

年	15～19歳			20～24歳			25～29歳			30～34歳			35～39歳		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
2012	372	377	▲5	1,077	999	78	1,024	952	72	758	713	45	606	585	21
2013	367	338	29	1,046	1,029	17	1,004	926	78	773	695	78	547	553	▲6
2014	314	332	▲18	1,067	1,078	▲11	954	916	38	668	687	▲19	511	565	▲54
2015	393	341	52	1,142	1,116	26	1,003	967	36	656	728	▲72	483	536	▲53
2016	406	387	19	1,076	1,152	▲76	932	943	▲11	665	704	▲39	490	446	44

女性

年	15～19歳			20～24歳			25～29歳			30～34歳			35～39歳		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減
2012	178	276	▲98	845	918	▲73	971	868	103	699	665	34	462	460	2
2013	198	262	▲64	852	927	▲75	973	862	111	671	610	61	417	480	▲63
2014	201	224	▲23	795	912	▲117	874	869	5	606	633	▲27	447	445	2
2015	175	275	▲100	904	1,016	▲112	890	960	▲70	606	646	▲40	383	445	▲62
2016	185	261	▲76	887	987	▲100	915	856	59	580	652	▲72	406	399	7

総務省「住民基本台帳移動報告」

(2)自然増減, 社会増減等の状況

	出生数	死亡数	合計特殊出生率
2015年	4,229	4,619	1.70
2016年	3,879	4,830	1.60
増減	▲350	211	▲0.1

	転入者数	転出者数	社会増減
2015年	10,258	11,114	▲856
2016年	10,017	10,458	▲441
2017年	10,210	10,554	▲344

福山市人口動態, 総務省「住民基本台帳移動報告」

①5歳毎にみると, 特に15歳から19歳, 20歳から24歳において, 女性の方が社会減(転入者数-転出者数)が大きくなっている。

②転入者, 転出者の数自体は, いずれも男性のほうが多い状況である。

【例】2012年 15～19歳 転入者の数(男性372人, 女性178人) →男性の方が194人多い
転出者の数(男性377人, 女性276人) →男性の方が101人多い
社会増減(男性▲5人, 女性▲98人) →女性の社会減が大きい

以上の状況から, 男性の転入者と転出者は, いずれも女性より多いものの, 概ね均衡している。

(男性は流出しているが, 流入も多い)

女性の転入者と転出者は, いずれも男性より少ないものの, 転出超過が大きい。

(女性の流出は(男性比)少ないが, 流入はさらに少ない)

【参考】年齢別人口推移①

同一集団(同じ年度に生まれた人)の経年変化に着目することで、人口の増減を見方を変えて確認する。

【例】2007年3月末時点で14歳の人(1992年度に生まれた人)の、14歳から24歳までの経年変化・・・男性105人減少、女性215人減少
 2007年3月末時点で24歳の人(1982年度に生まれた人)の、24歳から34歳までの経年変化・・・男性104人増加、女性77人増加

【男性人口(日本人)】

【女性人口(日本人)】

3月末現在(単位:人)

年齢	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
10	2,299	2,364	2,336	2,294	2,379	2,316	2,249	2,238	2,257	2,148	2,302
11	2,253	2,293	2,359	2,339	2,284	2,366	2,306	2,242	2,249	2,247	2,137
12	2,424	2,237	2,287	2,340	2,335	2,280	2,368	2,296	2,232	2,239	2,240
13	2,319	2,418	2,240	2,292	2,340	2,334	2,283	2,365	2,305	2,234	2,245
14	2,304	2,316	2,411	2,245	2,291	2,336	2,335	2,282	2,364	2,301	2,231
15	2,343	2,290	2,305	2,382	2,296	2,274	2,319	2,317	2,258	2,340	2,275
16	2,313	2,324	2,281	2,300	2,367	2,236	2,272	2,313	2,304	2,242	2,339
17	2,306	2,310	2,338	2,278	2,298	2,377	2,229	2,299	2,229	2,299	2,199
18	2,318	2,239	2,280	2,275	2,228	2,248	2,396	2,248	2,248	2,248	2,191
19	2,444	2,346	2,262	2,281	2,298	2,245	2,335	2,401	2,249	2,321	2,379
20	2,489	2,405	2,296	2,235	2,255	2,263	2,211	2,326	2,374	2,215	2,273
21	2,524	2,467	2,382	2,279	2,218	2,241	2,251	2,177	2,315	2,334	2,174
22	2,601	2,496	2,397	2,365	2,287	2,230	2,193	2,216	2,192	2,226	2,283
23	2,582	2,593	2,547	2,433	2,413	2,296	2,301	2,253	2,232	2,247	2,254
24	2,585	2,594	2,605	2,560	2,478	2,422	2,303	2,302	2,260	2,221	2,199
25	2,555	2,638	2,630	2,672	2,645	2,543	2,460	2,314	2,324	2,278	2,283
26	2,766	2,576	2,657	2,637	2,713	2,668	2,575	2,465	2,350	2,327	2,246
27	2,762	2,835	2,552	2,678	2,664	2,711	2,669	2,591	2,455	2,357	2,329
28	3,053	2,802	2,816	2,615	2,712	2,665	2,747	2,684	2,621	2,464	2,354
29	3,137	3,068	2,821	2,790	2,636	2,678	2,633	2,746	2,672	2,672	2,672
30	3,237	3,120	3,087	2,840	2,815	2,644	2,679	2,642	2,714	2,642	2,714
31	3,327	3,261	3,118	3,097	2,856	2,840	2,680	2,722	2,672	2,672	2,672
32	3,635	3,352	3,292	3,131	3,120	2,861	2,847	2,682	2,670	2,670	2,668
33	3,832	3,684	3,355	3,319	3,168	3,135	2,876	2,876	2,681	2,689	2,653
34	3,731	3,859	3,678	3,376	3,369	3,152	3,122	2,885	2,868	2,650	2,689
35	3,576	3,724	3,856	3,677	3,383	3,352	3,177	3,123	2,870	2,859	2,659
36	3,394	3,570	3,720	3,873	3,679	3,375	3,338	3,182	3,094	2,850	2,844
37	3,181	3,394	3,562	3,732	3,888	3,651	3,368	3,309	3,186	3,102	2,864
38	3,117	3,195	3,400	3,570	3,743	3,908	3,667	3,370	3,309	3,180	3,100
39	2,920	3,114	3,213	3,392	3,561	3,775	3,907	3,646	3,352	3,311	3,181

年齢	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
10	2,236	2,315	2,245	2,318	2,184	2,299	2,171	2,195	2,089	1,990	2,135
11	2,229	2,227	2,296	2,248	2,312	2,185	2,298	2,172	2,190	2,086	1,990
12	2,251	2,216	2,223	2,297	2,244	2,309	2,194	2,293	2,165	2,180	2,092
13	2,178	2,247	2,220	2,231	2,291	2,253	2,308	2,200	2,293	2,164	2,179
14	2,311	2,165	2,236	2,223	2,236	2,286	2,252	2,308	2,202	2,286	2,160
15	2,144	2,309	2,176	2,249	2,215	2,239	2,294	2,243	2,301	2,203	2,267
16	2,229	2,138	2,305	2,165	2,251	2,216	2,297	2,294	2,256	2,295	2,200
17	2,303	2,230	2,143	2,313	2,169	2,257	2,213	2,230	2,292	2,254	2,292
18	2,355	2,223	2,140	2,064	2,209	2,100	2,209	2,154	2,209	2,209	2,209
19	2,355	2,350	2,244	2,149	2,089	2,194	2,073	2,211	2,211	2,211	2,211
20	2,310	2,288	2,319	2,190	2,089	2,050	2,152	2,045	2,203	2,117	2,080
21	2,456	2,276	2,240	2,260	2,176	2,059	2,032	2,142	2,002	2,163	2,078
22	2,459	2,394	2,282	2,239	2,283	2,123	2,009	1,976	2,071	1,947	2,040
23	2,571	2,474	2,401	2,294	2,249	2,271	2,173	1,986	1,970	2,092	1,988
24	2,602	2,560	2,473	2,412	2,282	2,243	2,251	2,177	1,972	1,973	2,096
25	2,460	2,611	2,556	2,503	2,426	2,299	2,264	2,250	2,168	1,990	1,978
26	2,730	2,497	2,615	2,563	2,514	2,469	2,308	2,298	2,256	2,154	2,003
27	2,710	2,738	2,487	2,651	2,611	2,520	2,509	2,392	2,294	2,261	2,163
28	2,899	2,704	2,722	2,520	2,667	2,624	2,555	2,547	2,321	2,301	2,244
29	2,891	2,696	2,744	2,525	2,687	2,635	2,557	2,509	2,310	2,310	2,297
30	3,015	2,920	2,722	2,725	2,516	2,683	2,683	2,683	2,683	2,683	2,683
31	3,047	3,162	3,056	2,914	2,695	2,715	2,537	2,537	2,537	2,537	2,537
32	3,583	3,344	3,157	3,061	2,925	2,710	2,725	2,534	2,708	2,600	2,501
33	3,695	3,558	3,353	3,151	3,063	2,953	2,727	2,732	2,534	2,707	2,584
34	3,572	3,726	3,575	3,396	3,169	3,059	2,967	2,739	2,728	2,507	2,679
35	3,654	3,551	3,723	3,575	3,369	3,179	3,077	2,960	2,747	2,730	2,519
36	3,325	3,647	3,539	3,752	3,576	3,363	3,189	3,062	2,953	2,749	2,729
37	3,182	3,318	3,654	3,531	3,757	3,566	3,359	3,183	3,057	2,941	2,743
38	3,084	3,181	3,305	3,639	3,535	3,758	3,572	3,333	3,178	3,048	2,926
39	3,157	3,072	3,180	3,313	3,640	3,542	3,743	3,557	3,336	3,165	3,044

105人減少

215人減少

104人増加

77人増加

※さらに1歳毎にみると、一般的に進学、就職する年代(18歳頃から22歳頃)で減少幅が大きくなっている。

【参考】年齢別人口推移②

進学から就職する年代の経年変化状況を確認する。

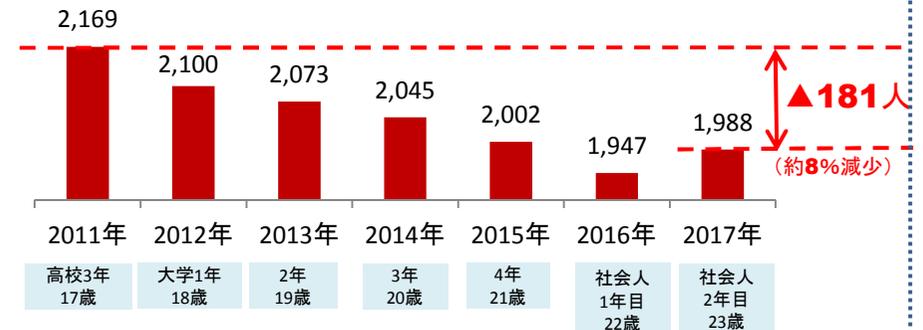
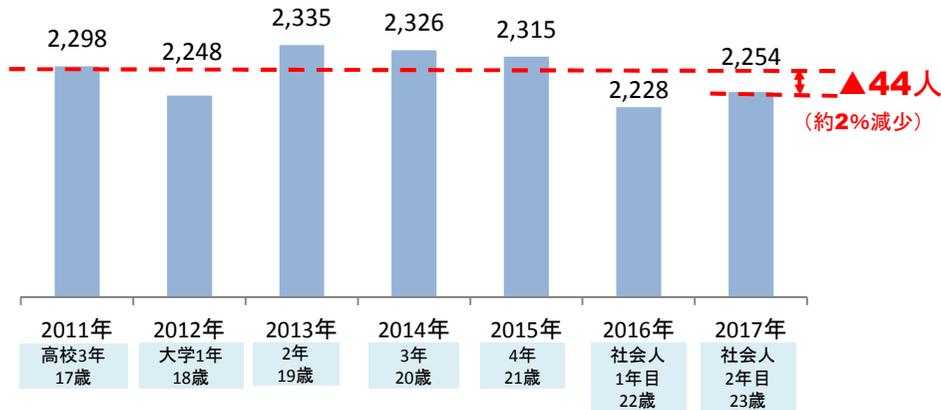
【例】2011年(平成23年)3月末に17歳で、6年後の2017年(平成29年)3月末時点で23歳になる年代(1993年度生まれ)は、その6年間に、男性は44人減少し、女性は181人減少している。

※下の図では、前提として、17歳の年度末の人口を、高校2年生の最終日の人口とし、さらに翌日4月1日の人口を同数と仮定したうえで、高校3年生の人口と表現しています。また、大学進学する場合の学年をモデルケースとして表現しているため、各年齢の人口と実際の学年とは異なります。

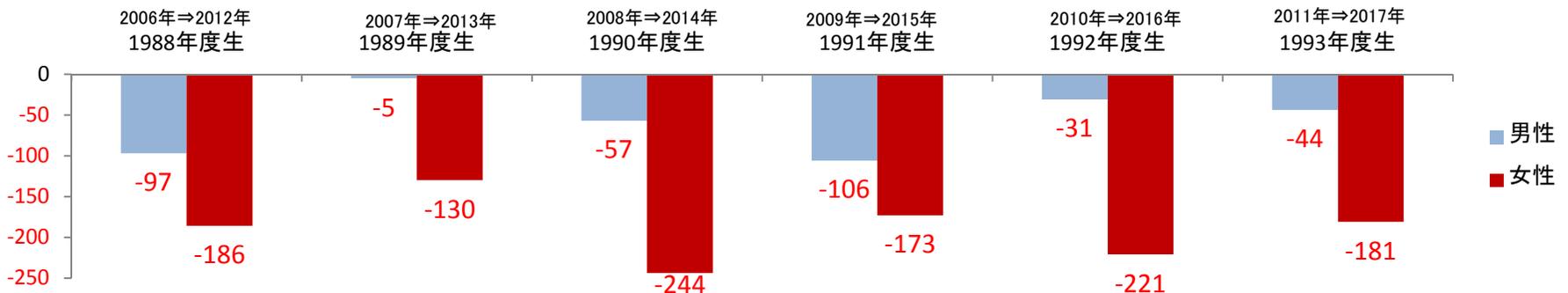
【男性】

【女性】

単位：人



※誕生年度別17歳から23歳(3月末人口)への経年変化数



就職・進学する人が多い世代において、人口減少が続いている男性に比べて女性の減少が多い状況が続いている

抜本的な対策を検討

2 今後の取組の方向性

- 転出超過、出生数の減少、合計特殊出生率の低下といった状況となっており、これまでの取組を点検し、本格的な人口減少対策の施策体系を構築する必要がある。
- 本格的な人口減少対策に関する庁内検討会議を年度内に立ち上げる。
- 検討結果をもとに、福山市総合戦略を改訂につなげていく。